

## PRESS RELEASE

### 総合メディカル社員 パラアスリート杉浦佳子選手

「2023年UCI自転車世界選手権大会」にて優勝！4つのメダルを獲得！

当社グループの総合メディカル株式会社社員のパラアスリート・杉浦佳子選手が、2023年8月3日～13日にイギリスで開催された「2023 UCI（国際自転車競技連合）自転車世界選手権大会」の2種目にて優勝。参加した4種目全てでメダルを獲得しました。

#### ■大会結果

	種目（距離）	結果	記録
パラサイクリング	女子 C3(※1)個人パシュート(※2) (3km=250m×12周)	金メダル	3分56秒949
トラック	女子 C3 タイムトライアル (500m)	金メダル	39秒184
パラサイクリング	女子 C3 ロードレース (62.4km)	銀メダル	1時間54分15秒
ロードレース	女子 C3 個人タイムトライアル (17km)	銅メダル	26分59秒23

※1 運動機能障害クラス ※2 個人で競う「追い抜き」



写真の中央が杉浦佳子選手

@JPCF

<杉浦佳子選手コメント>

今年の世界選手権は、これまで別々に行われていた13種目を集中開催するという自転車メガ大会でした。そのビッグイベントでの1番最初の金メダリストとなることができ、苦手としていたトラック競技においてアルカンシェルジャージ(※3)を獲得できたことは最高の荣誉です。

正直、長いレース期間中は心が折れそうになる時もありましたが、応援して下さる皆さまの顔を思い出し、最終日まで集中力を切らすことなく闘うことができました。

本当にありがとうございました。

※3 UCI が開催する国別対抗の世界選手権大会の優勝者に与えられるジャージ (1 ページ目の写真参照)

■杉浦佳子選手の歩み

大学卒業後、薬剤師として勤務。2013年にスポーツファーマシストの資格を取得し、薬学的知識を生かしてアスリートのサポートや講演活動に尽力。

2016年にロードレース大会中に落車し、脳挫傷、外傷性くも膜下出血、頭蓋骨・鎖骨・肋骨・肩甲骨を粉碎骨折、三半規管損傷という重傷を負う。医師からも当初は回復が難しいと診断を受けるも、懸命なリハビリを重ね、2017年にパラサイクリング選手としてレースへ奇跡的に復帰。以降2年続けてロードレースの世界選手権で優勝し、2018年に国際自転車競技連合からその年に最も活躍した選手として選ばれる。

2021年の東京パラリンピックでは、女子個人ロードタイムトライアルと女子個人ロードレースで金メダルを獲得し、パラリンピックの選手の中では「日本人最年長金メダリスト」となる。

2022年5月に当社へ入社。同年のUCI パラサイクリング ロードレース世界選手権、女子個人ロードレースにて優勝。

現在は、2024年開催予定のパリパラリンピック出場の内定決定に向け、日々活動中。

当社グループは、「すべての人々にとってかけがえのない、価値ある企業になる」という考え方のもと、社員一人ひとりが強みや能力を発揮できる職場環境をめざして、総合メディカルに専門部署を設けるなど、障がい者雇用の促進および環境整備に注力しています。

今後とも、総合メディカルグループおよび杉浦佳子選手をどうぞよろしくお願いたします。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

総合メディカルグループ株式会社 総務部 広報グループ

福岡市中央区大名二丁目9番23号

TEL:092-713-9181 FAX:092-713-0185 E-mail: koho-ir@sogo-medical.co.jp